



# Cisco Prime Network Registrar SDK のインストール

この項では、Linux および Windows プラットフォームに Cisco Prime Network Registrar SDK をインストールする方法について説明します。5510 SDK をインストールする前に、JRE 1.8 または同等の JDK がシステムにインストールされていることを確認します。Cisco Prime Network Registrar SDK は別の製品であり、別売りです。

この付録の構成は、次のとおりです。

- [Linux へのインストール](#) (1 ページ)
- [Windows へのインストール](#) (2 ページ)
- [インストールのテスト](#) (2 ページ)
- [互換性に関する考慮事項](#) (2 ページ)

## Linux へのインストール

Linux プラットフォームに Cisco Prime Network Registrar SDK をインストールするには、次の手順を実行します。

**ステップ 1** 配布された .tar ファイルの内容を展開します。

a) SDK ディレクトリを作成します。

```
※ mkdir /cnr-sdk
```

b) 作成したディレクトリに移動し、.tar ファイルの内容を展開します。

```
※ cd /cnr-sdk
```

```
※ tar xvf sdk_tar_file_location/cnrsdk.tar
```

**ステップ 2** LD\_LIBRARY\_PATH と CLASSPATH の環境変数をエクスポートします。

```
※ export LD_LIBRARY_PATH=/cnr-sdk/lib
```

```
% export CLASSPATH=/cnr-sdk/classes/cnr-sdk.jar:.
```

---

## Windows へのインストール

Windows プラットフォームに Cisco Prime Network Registrar SDK をインストールするには、次の手順を実行します。

---

**ステップ 1** 配布された .tar ファイルの内容を展開します。

a) SDK ディレクトリを作成します。

```
> md c:\cnr-sdk
```

b) 作成したディレクトリに移動し、.tar ファイルの内容を展開します。

```
> c:
> cd \cnr-sdk
> tar xvf sdk_tar_file_location\cnr-sdk.tar
```

オプションで、Winzip を使用して cnr-sdk.tar を C:\cnr-sdk ディレクトリに展開することもできます。

**ステップ 2** PATH 変数および CLASSPATH 変数を設定します。

```
> set PATH=%PATH%;c:\cnr-sdk\lib
> set CLASSPATH=c:\cnr-sdk\classes\cnr-sdk.jar;.
```

---

## インストールのテスト

Linux では、次のテストプログラムで PATH または LD\_LIBRARY\_PATH が正しく設定されていることを確認します。

```
% java -jar /cnr-sdk/classes/cnr-sdk.jar
```

Windows では、次のテストプログラムで CLASSPATH が正しく設定されていることを確認します。

```
> java -jar c:\cnr-sdk\classes\cnr-sdk.jar
```

## 互換性に関する考慮事項

以前のバージョンの SDK で開発された Java SDK クライアントコードの場合、最新の JAR ファイルを使用してほとんどのコードを再コンパイルするだけで、アップグレードされたサーバに接続できます。

介在する Cisco Prime Network Registrar のバージョンの『*Cisco Prime Network Registrar 10.1* リリースノート』の「*SDK* の互換性に関する考慮事項 (*SDK Compatibility Considerations*)」の項を確認してください。これらの項は、*SDK* の互換性に関する重大な考慮事項を強調しています。

